※開発中の画面です

言葉の認識状態を可視化する
語音聴取チェックアプリ

登録無料

「みんなの聴脳力®チェック」

音声で流れる単音の言葉をクイズ形式で答える
3～5分程度のゲームアプリです。

5分で簡単！

20文字の単音が再生されて、
その言葉を当てるクイズです。

【テスト中の画面】

あ

入力した文字が表示されます。

再生された音声を聞き取り、入力エリアに記載します。
(指で入力が可能)

※手書きアプリのダウンロードが必要です。

問題別の結果が表示されます！

android

ダウンロードはこちら ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

【ご注意】「みんなの聴脳力®チェック」アプリは、2021年1月現在はAndroidのみの対応となります。ご了承ください

“難聴”が引き起こす誤解をテーマにした感動ショートムービー

comuoon® イメージキャラクター 石倉三郎さん 主演
監督：犬童一利(『つぐむもの』『きらきら眼鏡』)

『気づかなくてごめんね』

Youtubeで公開中 ▶▶▶

気づかなくてごめんね 検索

ヒアリングフレイルチェック設置店

耳トレ®はユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の登録商標です。
聴脳力®はユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の登録商標です。
ヒアリングフレイル®はユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の登録商標です。

発　行：ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社　聴脳科学総合研究所
発行日：2021 年 3 月 3 日

お耳の健康聴寿ブック

ご存知ですか？

聴力の低下は認知症のリスクとなります。

もじゃもじゃ先生

耳トレ!!® —mimitore!— を活用して
ヒアリングフレイル®を予防しよう！

防ごうヒアリングフレイル!

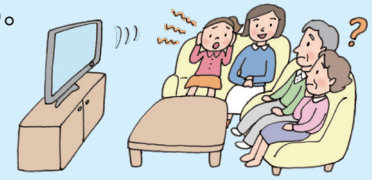
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
聴脳科学総合研究所

ヒアリングフレイル®とは、
耳の虚弱（聞き取る機能の衰え）という意味です。

※フレイルとは虚弱を意味する英語「frailty」からできた言葉です。
その中で「ヒアリングフレイル®」は耳の比較的軽微な機能低下の段階から国民への意識啓発を高めるために作られた概念です。

日頃の聞こえをチェックしてみましょう！

- ☐ 家族にテレビやラジオの音量が大きいと言われることがよくある。
- ☐ 相手の言ったことを推測で判断することがある。
- ☐ 集会や会議など数人の会話でうまく聞き取れない。
- ☐ 話し声が大きいと言われる。
- ☐ 会話をしている時に聞き返すことがよくある。



3つ以上当てはまると聴力が低下しているおそれがあります。

こんな症状があったら、ヒアリングフレイル®かも…

放置すると心身の活力の衰えが進み、認知症やうつ状態となるリスクが高まります。

大好きだったテレビを急にみなくなった

部屋に引きこもることが多くなった

以前に比べ会話が難しくなった

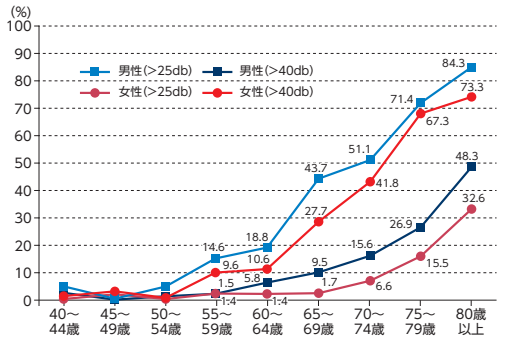
「みんなの聴脳力®チェック」を使ってヒアリングフレイル®を予防しよう!

自分の聴覚の状態を知って聴覚を有効活用することが健康寿命延伸の基本です！

聴覚機能の急激な低下は60代から顕著になります。

国立長寿医療研究センターの「老化に関する長期縦断疫学研究（NILS-LSA）」という疫学調査（*2）よれば、聴力レベルが25dBHLを超える難聴の有病率は65歳以上から急激に増え始め、**75～79歳では男性71.4%、女性67.3%、80歳以上になると男性84.3%、女性73.3%が難聴**という結果だった。

【図1】地域住民を対象に調査して得られた難聴有病率



※NILS-LSA第6次調査（2008～2010）参加者対象（男性1118名、女性1076名）

健康寿命を延ばすポイント

聴力が年齢とともに低下していくことはよく知られています。聴力が低下した状態になると周りの人たちから「認知機能が低下したのでは?」と勘違いされるなどの影響も出てきます。

難聴 → 対話減少 → 活動意欲低下 → 社会的孤立 → 脳活性低下 / 認知機能低下

ポイント1 難聴の早期発見 ➡ 耳の状態の定期的なチェック

ポイント2 聴覚の活用 ➡ 聴こえの支援が可能な機器の利用

ヒアリングフレイル®予防の観点から 耳トレ!!® スピーカー「コミューン」をお勧めします。

聞こえのチェックや「耳トレ!!®」のご質問はスタッフまでにご相談ください。